

領域	統合分野	授業科目	在宅看護論Ⅲ	単位(授業時間/時間数)	1(28/30)
開講年次	2年次	開講時期	前期	後期	通年
担当講師名	専任教員	講師所属	福岡水巻看護助産学校		

### 授業のねらい

在宅医療の進歩や介護の普及で、在宅療養がしやすくなった事に加え、終末期の過ごし方を自己決定する意識が高まり、終末期を地域で過ごす療養者が増加している。在宅ターミナルケアでは、療養者と家族が苦痛や不安がなく療養でき、悔いのない看取りができることをめざす。そのため、ここでは在宅ターミナルケアの特徴と必要な看護を学ぶ。

また、在宅酸素療法中の療養者の事例で看護過程展開し、在宅での病状管理や他職種との連携、リスクマネジメントなど在宅看護の特性を学ぶ。さらに、グループでの訪問看護演習を通して訪問看護での望ましい接遇を身につける。

### 授業目標

在宅でのターミナルケアの特徴が理解できる。また、在宅看護での看護過程展開や望ましい接遇について考える。

### 授業概要

1. 在宅ターミナルケア
  - 1) 日本人はどこで死ぬのか？
  - 2) 死に向かう療養者に訪問看護ができること
  - 3) 家族が死ぬということ
  - 4) 看取りの各段階ですべきこと
  - 5) どうする？在宅での癌の看取り
  - 6) 事例を読んでみよう
2. 在宅療養マップを書こう！
 

情報収集は何から？

事例「在宅酸素療法中のTさん」
3. やってみよう！訪問看護演習
 

グループでの訪問看護ロールプレイ

### 担当からのメッセージ

在宅看護論の最終科目です。在宅ターミナルケアを学んだ後、ペーパーシミュレーションで看護過程展開したり、訪問看護演習で、実習に役立つ実践的な力を身につけましょう。

### 授業の進め方

講義、演習(ロールプレイ)発表、看護過程展開レポート

### 教科書

ナーシング・グラフィカ 在宅看護論 地域療養を支えるケア(メディカ出版)

### 参考図書

写真でわかる訪問看護(インターメディカ)

### 評価方法

終講時 客観式テスト・演習・看護過程レポートでの総合評価(100点) \*試験時間は時間数に含む